

平成25年 教育委員会第6回定例会 会議録

日 時 平成25年4月9日（火）

午後3時01分～午後4時07分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 議案

【指導課】

- (1) 『議案第23号』平成25年度「特色ある教育活動」事業の実施（継続事業）

第 2 報告

【子ども総務課】

- (1) 平成25年度教育委員会関係機関施設一覧

【子ども支援課】

- (1) 幼稚園・保育園・こども園の在籍状況

【児童・家庭支援センター】

- (1) 平成25年度学童クラブ学年別申込状況一覧表

【学務課】

- (1) 平成25年度学級編制（平成25年4月1日現在）

【指導課】

- (1) 平成25年度教育委員会学校関係事業・行事予定表【改訂版】
(2) 平成25年度研究協力校
(3) 平成25年度移動教室等実施概要

第 3 その他

【子ども総務課】

- (1) 千代田区文化財 新たに2件を指定

出席委員（5名）

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	近藤 明義
教育委員	市川 正
教育委員	古川 紀子
教育長	山崎 芳明

出席職員（9名）

子ども・教育部長	大畠 康平
次世代育成担当部長	高橋 誠一郎
参事（子ども健康担当）	田中 敦子

子ども総務課長	村木 久人
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども支援課長	亀割 岳彦
児童・家庭支援センター所長	山下 律子
学務課長	依田 昭夫
指導課長	佐藤 興二

欠席委員（0名）

欠席職員（1名）

子ども施設課長	辰島 健
---------	------

書記（2名）

総務係長	久保 俊一
総務係員	田口 有美子

中川委員長	開会に先立ち、傍聴者から傍聴申請があった場合は、傍聴を許可することとしますので、ご了承ください。
子ども・教育部長	<p>本日は、新年度初めての教育委員会ということで、何人か幹部の職員の方の異動がありましたので、ここで自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>まず、大島子ども・教育部長からお願いいたします。</p> <p>この4月1日付で子ども・教育部長を拝命いたしました大島と申します。よろしくをお願いいたします。</p>
中川委員長 次世代育成担当部長	<p>高橋次世代育成担当部長。</p> <p>はい。4月1日付で次世代育成担当部長を拝命いたしました高橋でございます。2年間子ども総務課長の際は、いろいろとご指導いただきまして、ありがとうございました。これからまた、よろしくをお願いいたします。</p>
中川委員長 子ども総務課長	<p>村木子ども総務課長、お願いいたします。</p> <p>4月1日付で子ども総務課長を拝命いたしました村木と申します。よろしくをお願いいたします。</p>
中川委員長 副参事（特命担当）	<p>大井副参事（特命担当）、お願いいたします。</p> <p>4月1日から九段中等教育学校の経営企画室長になりました大井です。よろしくをお願いいたします。</p>
中川委員長 参事（子ども健康担当）	<p>田中参事、お願いいたします。</p> <p>4月1日付で、豊島区のほうから異動してまいりまして、保健所長とこちらの担当ということで、よろしくをお願いいたします。</p>
中川委員長 子ども支援課長	<p>よろしくをお願いいたします。</p> <p>亀割子ども支援課長。</p> <p>はい。4月1日付で子ども支援課長に拝命いただきました亀割と申しま</p>

す。よろしくお願いいたします。

中川委員長
学務課長 依田学務課長。異動ですが。
はい。子ども支援課から学務課長に拝命されました依田でございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

中川委員長
指導課長。 はい。よろしくお願いいたします。

指導課長 では、私のほうから、昨年度末に教育研究所の専任の非常勤の所長をご指名いただきましたので、ご紹介したいと思います。
また、統括指導主事もかわっておりますので、2人、自己紹介をさせていただきます。
では、所長からよろしくお願いいたします。

教育研究所長 失礼します。4月1日付で所長を拝命いたしました角田元良と申します。平成12年度から16年度まで、麴町小学校、幼稚園の校長、園長を務めさせていただいて、7年ぶりに千代田区に、戻ってきたという大変でございますが、参りました。学校教育というところに軸足を置きながら、学校教育がますます充実するように、たくさんの課題があろうかというふうに思いますけれども、その課題解決に向けて一生懸命努力をしてみたいと思っております。よろしくどうぞよろしくお願いいたします。

中川委員長
統括指導主事 よろしくよろしくお願いいたします。
失礼いたします。4月1日より、統括指導主事を拝命いたしました高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

中川委員長
事務局。 よろしくよろしくお願いいたします。
よろしいですか。
では、事務局。

事務局 4月1日から事務局を担当させていただきます、子ども総務課総務係長の久保と申します。よろしくお願いいたします。

事務局 同じく4月から事務局を担当させていただきます、子ども総務課の田口と申します。よろしくお願いいたします。

中川委員長
指導課長 よろしくよろしくお願いいたします。
指導課ですけれども、指導主事が2名ほど新しい者がおります。穂積振司と森口美佳という2人の指導主事が新しいのですが、本日は別の業務で、ご紹介できませんので、おいおいまた、ご紹介したいと思います。よろしくお願いいたします。

中川委員長 はい。わかりました。
では、この布陣で今年度スタートいたしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、ただいまから平成25年教育委員会第6回定例会を開催いたします。
本日、辰島子ども施設課長は所用のため欠席です。
今回の署名委員は近藤委員にお願いいたします。

近藤委員 | はい。

◎日程第1 議案

指導課

(1) 『議案第23号』平成25年度「特色ある教育活動」事業の実施（継続事業）

中川委員長

それでは、日程第1、議案に入ります。

議案は1件あります。平成25年度「特色ある教育活動」事業の実施、これは継続事業ですが、これについて指導課長より説明お願いいたします。

指導課長

はい。議案第23号、平成25年度「特色ある教育活動」事業の実施（継続事業）につきまして、ご説明並びに後ほどご審議いただければと思います。よろしくお願いたします。

まず、1枚目をごらんください。

本事業につきましては、「特色ある教育活動」、「部活動等の推進」、「スペシャリスト連携講座」、総額で3,229万円ほどの予算を持っている事業でございます。今回は、継続事業につきまして、私からご説明を申し上げて、ご承認いただければと思います。

継続事業の申請数ですが、全て104事業となっております。

細事業別に見ますと、「特色ある教育活動」が82事業、「部活動等の推進」が20事業、「スペシャリスト連携講座」が2事業でございます。

校種別に見ますと、幼稚（こども）園が23事業、小学校が62事業、中学校が19事業と、計104事業でございます。

継続事業の各校・園への配当額としては、約2,150万円でございます。こちらのほうには記載はございませんが、そのほかに一般事業費として「特色ある教育活動」に、1校・園当たり7万円、「部活動等の推進」に、小学校10万円、中学校15万円、中等教育学校30万円を配当しております。よって、合計約2,150万円と約300万を足して、約2,400万ほどになります。

継続事業の内容といたしましては、1枚おめくりいただきますと、別紙1から別紙3に、特色ある、あるいは部活動、スペシャリストの順でございます。また、学校・園ごとに、どういう継続申請になっているのかというのが記載されていますので、そちらもあわせてごらんいただきながら、お聞きいただければと思います。

幼稚園・こども園につきましては、麴町幼稚園にありますように、「茶道に親しむ」、あるいは番町幼稚園にありますように、「獅子舞」、1枚おめくりいただいて、3ページ目のいずみこども園にありますように、「神田雷神太鼓」など、日本の伝統に触れる事業が8事業ほどございます。また、2ページ目の昌平幼稚園にありますような「ピオトープでの豊かな体験」、あるいはいずみこども園にあります「自然体験活動」、あるいはふじみこども園にありますように、「移動動物園」など、動植物に多く触れる事業が7事

業ほどあり、主に幼稚園ではこのような形になっています。

小中学校におきましては、3ページ目以降をごらんください。

幼稚園同様、九段小学校にありますように、「九段囃子」、あるいは7ページ目になります、お茶の水小学校などの「和太鼓」など、日本の伝統に触れる事業が10事業ほど申請されております。

また、九段小学校にありますように、6ページ目ですけれども、アイマスク体験、それと富士見小学校、7ページ目ですけれども、点字体験、あるいは昌平小学校の車いす体験など、福祉に関する事業が6事業ございます。

継続事業の内容といたしましては、日本の伝統に触れ、郷土愛や愛国心を高めるとともに、自然に多く触れる機会を持ったり、福祉の体験の機会を持ったりするなど、子どもたちの心を豊かに育むことを目的とした事業が継続的に計画されているところでございます。

また、学力向上に関する継続事業といたしましては、少し飛びまして、11ページをごらんください。11ページにございますように、麴町中学校における学力向上プラン、あるいは英会話推進、読書推進プラン等がございます。

小学校におきましては、1枚お戻りいただきまして、9ページにありますように、昌平小学校での英会話教室など、児童・生徒の興味関心を高めたり基礎学力の定着を図ったりするものがございます。

続きまして、部活動等の別紙2、12ページをごらんください。

部活動等の推進につきましては、小学校においては、九段小学校にありますように、ミニバスケットボール、あるいは番町小学校にありますように、金管バンド、お茶の水小学校のマーチングバンド、和泉小学校のビッグバンド等の音楽に関する課外クラブの予算が計上されております。また、和太鼓、囲碁、将棋というようなところが申請に上がっております。

続きまして、中学校につきましては、14ページ、麴町中学校では、部活動推進プランということで、総合的にそれぞれの部活を統合しまして、このような形の申請になっております。

一方、神田一橋中学校、裏面ですけれども、15ページで神田一橋中学校は、細かく、吹奏楽部、茶道部、バドミントン部等というような形で、今回は申請されております。

続きまして、「スペシャリスト連携講座」事業でございますが、こちらのほうは、麴町中学校と神田一橋中学校2校で、表記のとおり、大学との連携をした事業を行っております。なお、神田一橋中学校は平成23年度から、麴町中学校は平成24年度からの継続事業となっております。

今回は継続事業のみ審議をお願いしたいと思います。

新規事業に関しましては、改めまして、校・園長より、別途プレゼンテーションを行い、皆様のご意見を踏まえながら実施してまいりたいと思いますので、よろしくをお願いしたいと思います。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

ありがとうございました。

中川委員長

説明が終わりました。

ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

近藤委員。

近藤委員 今、継続事業というふうにおっしゃった、その継続というのは、「特色ある教育活動」の継続ということですか。それぞれ、学校から上がっている事業1つ1つが継続という意味ですか。

指導課長 「特色ある教育活動」の中で申請が継続的に行われていたというもので、古くは、この予算がつく前の平成10年度から進めているというものも中にはございます。ですので、学校が継続的にやっているもの、予算事業化されたものに対して、「特色ある教育活動」に予算化をして申請してきたもの、いずれにいたしましても、この「特色ある教育活動」の推進という事業では、継続して計画を出されてきていると理解していただけるとありがたいです。

近藤委員 例えば事業名は多少違ってても、学校としてはほとんど同じようなことに取り組んでいるという意味での継続ということですか。

指導課長 はい。そのとおりでございまして、事業名が若干変わっていたり、あるいは講師に呼ぶ方が変わってきて、報償費の単価が変わってきたり、金額が変わってくる場合がございます。

近藤委員 昨年も認めて予算をつけて、活動をしてという、その形態があるわけで、それを今どうこうと難癖をつけてやめさせてというつもりは毛頭ないですけども、申請数を見てもみると、学校によって非常に違いがありますよね。このあたりが、どういう審査、どういうふるいをかけられているか疑問です。これは単に管理職がやる気があるとか、ないとかというレベルのことではないと思うんですね。事業の状況がよくわかっていらっしゃらない管理職がもしかしらいらっしゃるかもしれないし、長年千代田に勤務をしていて、そのあたりが非常に明るい管理職の方もいらっしゃるでしょうし。だからといって、全部横並びにして同じことをやりなさいというつもりも全くないのですが、余りにも申請に違いがあり過ぎて、認められたものの一覧が出た後で、それぞれの学校の校長さんが目を通したらば、こういうことで通過するんだったら本校もやりたかったなというのが随分出てくるのではないかと考えているんですよ。もうちょっと、指導課で、これは認める、これはちょっと考え方が違うんじゃないかという基準を明確に持つべきじゃないかというふうに思っているんですね。

というのは、例えば3ページの一番上、いずみこども園のところで、「いずみこども広場」というものがありますが、ここの概要とねらいを讀んでみると、これは子どもの活動で予算をつけるというものですか。最終的には子どもたちに還元されていくものだと思いますけれども、教員の指導力を上げるための講習会の費用ですよね。この裏に何が隠されているかというのは言い切れていない、この文章では言い切れていない何かがあるのかもしれないですが、この文章だけを見ると。これを特色ある活動という形で認定して

いくということは問題があるのではないか。授業を興味あるものにしてという狙いのもとで、保護者の方、また地域の方をお願いをし、助けていただくような活動というんでしょうか、そういうものはまさにその学校の教育活動の特色だと思います。一概に何がよくて、何が悪くてということじゃなく、もうちょっと指導課としてはっきりとした基準を持つべきじゃないかというふうに思っているところです。

以上です。

中川委員長

ありがとうございました。

いかがですか。

指導課長

こちらの「特色ある教育活動」の実施要綱もきちんと定めておりまして、こちらに基づいて、指導課の中で精査はしているところではございますが、やはりまだまだご指摘のように、精査の観点、あるいはもう少し明確な基準をもって行うことの必要性を今感じているところです。

近藤委員ご指摘のように、十分その概要とねらいを踏まえて、この本来の「特色ある教育活動実施要綱」に示されている目的に沿った形での精査を今後してまいりたいと思っております。

中川委員長

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

古川さん。

古川委員

教えていただきたいのですが、「特色ある教育活動」の麴町中学校です。「学力向上プラン」で、教科の補充教室で講師の方がいらっしゃるようですが、どういった方がいらしているのかというのが1点と、あと、近藤委員からも今お話がありましたが、各学校によって申請額の差が毎年お話が出てご説明もいただいているのですけれども、やはりちょっと気になります。麴町中学校と神田一橋中学校の金額が大分違います。新規の事業もこれから上がってくるということなので、そちらのほうで、もしかしたら神田一橋中学校が上がってくるのかなとも思いますが、ちなみに去年、神田一橋中学校で放課後の補充学習の申請があって、今回ここには載っていないですよ。そういった事業は何か別の枠になってきているのかということも伺いたいです。

指導課長

まず、麴町中学校の放課後の講師はどのような方かということですが、これは、学校のほうで講師の方を見つけていただくシステムになっております。ですので、例えば教職を目指している方だとか、あるいは地域の方だとか、さまざまです。詳細については、ちょっと把握はしていませんけれども、そういった方たちをお招きしているということで、学校が決めているということです。

それと、学校によって申請が違うということで、近藤委員からもご指摘がありまして、各校がどんな申請をしているのかというのを、指導課のほうからもある程度示して、校長先生方にお知らせする必要があると思っております。実際、神田一橋中学校の土曜日の放課後教室等につきましては、学校長のご意向で、従来、教育指導課が主催しております土曜学習教室でございま

すが、そちらのほうをやっており、この特色のほうで、土曜日の申請をしてこなかったということがあろうかと思えます。ただし、神田一橋中学校においては、また別な特色を出していこうという意味合いがありまして、新規事業でも何件かを上げてきております。

中川委員長 今の神田一橋中学校が何件か新しいのを上げてきているというのは、今後、別途、説明がありますという、その中に入っているのですか。

指導課長 はい。新規事業につきましては、別途、また委員の皆様には、校長から、プレゼンテーションといいますか、説明をしていただく機会はきちんと設けたいというふうに思っております。

中川委員長 その予算はどういうふうになっているのですか。予算立て。

指導課長 予算につきましては、総枠の、先ほど申し上げました3,229万円の中から、各校で予算を組んでいただきます。そのときに、今年度の計画ということで一律上げていただきますので、新規も拡充も、全部ひっくるめてご申請をいただいております。今年度に関しましては、新規も拡充もあわせても、当初配当予算、3,229万円の中にはおさまっております。昨年度は、新しい校長先生が多いということで、6月ぐらいに改めてというような形をしましたが、今年度は校長の入れかえがございませんので、年度末にご申請をいただいて、新規が出てきているので、それについてはプレゼンテーションをして、見ていただくと、そういう流れになっております。

中川委員長 そのほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

近藤先生、よろしいですか。もう少し何かありますか。

近藤委員 さっきお話ししましたように、それこそ苦情を申し上げて、予算配当を外してしまうとかという、そういうつもりで申し上げているのではなくて、基準をしっかりしていただきたいのです。きょう採決をしてしまうと、要望してきたのをそのまま予算配当をしてしまうのであったらば、もうちょっといろいろと、意見を申し上げないといけないような部分もあるのかなと思うのですけれども。指導課で、これを実際に執行していくときに、学校側とよく話し合っていたら、そのあたり、見ていただきたいなと思うんですね。

指導課長 ただいまの近藤委員のご意見につきまして、やはり指導課でも、きちんと執行する際に、予算額だけではなくて、内容面に関しても「特色ある教育活動」の事業の趣旨に沿った形で進められるように指導監督してまいりたいと思います。

中川委員長 お願いいたします。

近藤委員がおっしゃったように、基準をもう少しはっきりしていただきたいし、私たちにももう少しわかるような形で説明をしていただいたほうがいいかなと思いました。

あと、やはり本当に学校とか園によってすごくばらつきがあって、多分園長先生とか校長先生の解釈によっても違っている部分があるんじゃないかなという気がちょっとしています。

- 近藤委員 さっき私、例を挙げたのは、3ページの一番上、いずみこども園というふうにお話をしたのですが、ちょっと間違っていましたね、ごめんなさい。2ページの千代田幼稚園の一番上、「絵画制作活動」という部分をお話ししようと思っているのですが、この概要とねらいなんか、全く教員の研修活動ですよ。
- 中川委員長 「教職員が」と書いてありますね。
- 近藤委員 こういう申請でお金を出すということはとんでもないというふうに思うんですよ。
- 指導課長 はい。
- 中川委員長 そうですね。
- 同じようなものかもしれませんが、去年たしか、申請を出したときに、富士見小学校で体育の指導というのもありましたよね。あれもこの中に含めていいかというのを、市川委員のほうからお話があったのですが、今回それは抜けていますけれども、それはどこに行ったのかなと思ったんですが。
- もし先生の資質向上というのと、そういう特色あるというのが、一緒に入っているとしたら、もう一回精査していただいたほうが。
- よろしいでしょうか。
- 指導課長 はい。ただいまご意見をいただきましたので、もう一度指導課で精査をして、次回の教育委員会、あるいはその次ぐらいにさせていただければと思います。よろしくお願いします。
- 中川委員長 わかりました。そのほうがきっとすっきりすると思いますので、よろしくお願いいたします。
- では、この件に関しましてはよろしいでしょうか。
- (了 承)
- 中川委員長 それでは、今回は採決をせずに、継続ということで。継続審議ということにいたします。

◎日程第2 報告

子ども総務課

- (1) 平成25年度教育委員会関係機関施設一覧

子ども支援課

- (1) 幼稚園・保育園・こども園の在籍状況

児童・家庭支援センター

- (1) 平成25年度学童クラブ学年別申込状況一覧表

学務課

- (1) 平成25年度学級編制（平成25年4月1日現在）

指導課

- (1) 平成25年度教育委員会学校関係事業・行事予定表【改訂版】
 (2) 平成25年度研究協力校

(3) 平成25年度移動教室等実施概要

中川委員長	それでは、日程第2、報告に入ります。 報告は7件あります。 初めに、子ども総務課長より報告お願いいたします。
子ども総務課長	それでは、お手元の「25 教育委員会関係機関・施設一覧」という資料をごらんいただきたいと思います。 教育委員会関係の機関・施設につきましてはこの表のとおりですが、こちらを用いながら、この4月1日付で転入等になりました幹部教職員をご紹介申し上げたいと思います。 まず、いずみこども園園長、贅田和子が昌平幼稚園副園長からの昇任でございます。一段上になりますが、昌平幼稚園副園長、竹山朋江が転入でございます。 次に、小学校ですが、麴町小学校副校長、齊藤孝之が転入、お茶の水小学校副校長、渡邊浩が麴町小学校副校長からの横転、千代田小学校副校長、尾上佐智子が昇任転入、昌平小学校副校長、茅野克俊はお茶の水小学校主幹教諭からの昇任でございます。 次に、中学校ですが、麴町中学校副校長、熊谷尚夫、神田一橋中学校副校長、小須田秀実、いずれも転入でございます。次に、九段中等教育学校でございますが、副校長の山本一之介が千代田区教育委員会指導主事からの昇任でございます。 なお、いずれも校長の転入はございません。 次に、資料を1枚おめくりいただきまして、6番目になりますが、認証保育所・都区補助対象保育施設等の関係でございます。 表中網かけがされております2件、マミーズエンジェル千代田保育園及びココファン・ナーサリー神田万世橋、こちらの2件が4月1日からの新設となっております。 最後に、教育委員会事務局幹部の異動につきましては、冒頭の自己紹介のとおりでございます。 報告は以上です。
中川委員長	ありがとうございました。 この件に関しまして、何かご質問がありましたらお願いいたします。 よろしいですね。
中川委員長 子ども支援課長	(な し) それでは、次に、子ども支援課長より報告お願いいたします。 では、お手元の資料、「幼稚園・保育園・こども園の在籍状況」という資料をごらんください。4月1日付の在籍人数についてご報告申し上げます。 資料の上段が幼稚園・こども園に相当する部分です。いわゆる幼稚園の部分なのですが、3歳から4歳児、学級数につきましては30で、前年と同じになっております。右側の園児数ですが、合計642名は、対前年比で20人の増

になっております。内訳のほうですが、短時間は10名の減、長時間が対前年で30名ふえておりまして、結果的に20名の増となっております。

それから、下段の保育園・こども園ですが、こちらも定員は前年と同様です。これに対しまして、園児数については、弾力化等の対策により、前年比でプラス24名増となっております。

資料2枚目ですが、2枚目は保育園・こども園の歳児別の在籍状況になっております。こちら、表頭をごらんいただきまして、右から2番目、「申請数計」というのがございます。こちらが平成25年の申し込みのあった件数となりまして、ずっとそのまま下に行っていただきますと、377という合計数字があります。こちらが申請数でございます。この申請数に対しまして、その右側です。「入園者」、これは、希望する園に入れた方も残念ながら転所で別の園に入った方も含めまして、234名が入園できたということになります。この差引きのその下に、「未入園者」と書いてあります、差引き数字143名が、今回入れなかったということなのですが、内訳をごらんいただきますと、「留保」とあります。こちらは、認可外に入ったり、別の園に入って待っている、自宅で待っているといった留保の関係の方が100名余いらっしゃいます。申請取下、辞退等がありまして、残る完全な待機児童としてのカウント数は、平成25年につきましては4名ということになりました。

ご報告は以上です。

中川委員長

ありがとうございます。

では、この件に関しまして、ご意見、ご質問お願いいたします。

よろしいですか。

(な し)

中川委員長

では、次、お願いいたします。

児童・家庭支援センター長

それでは、児童・家庭支援センターから、「平成25年度 学童クラブ学年別申込状況一覧表」に基づきまして、ご報告させていただきます。

こちらの数字は、4月1日時点の数字になります。中ほどの「クラブ申込合計A」というところの一番右の数字をごらんください。学童クラブに入所している児童の合計は657名になりまして、前年から比べますと3名の増になります。

今年度の特色ですけれども、例年人気が高い麴町地区については、毎年1つのところに集中していますが、特に今年度は、希望している学童クラブ、具体的に言いますと、アフタースクール麴町で入所ができなくて、他の児童館に移動していただいているお子さんがいらっしゃいます。それと、麴町地区につきましては、弾力定員枠を増やして何とか対応いたしまして、全員のお子さんが学童クラブに入所することができました。

ただ、「差引人数C-A」というところをごらんいただくと、四番町児童館0、一番町児童館マイナス3、こちらはもう、3人超過しているということです。アフタースクール麴町0、二番町子どもクラブ1、こちらも本日入るお子さんが決まりましたので、現状では、麴町地区では、これから先、転

入してきたお子さんに1人も対応できないという状況になっているところ
でございます。

そういう状況でございますが、何とか来年度に向けましては、少し麴町地
区の対応を考えていきたいと思っているところでございます。

報告は以上でございます。

中川委員長

ありがとうございました。

この件に関しまして、ご意見、ご質問がありましたら願いいたします。

来年度はもっと増える予定がありますか。

児童・家庭支援センター所長

少し定員を増やせるように検討していきたいと考えております。

中川委員長

よろしいですか。

どうぞ、古川さん。

古川委員

一番町のところの弾力定員の枠よりも実際入っているお子さんが多いとい
うのは、時間がずれていたりして入れるということでしょうか。弾力の定員
ということとは。

児童・家庭支援センター所長

この弾力定員枠というのは、何%と決まっているわけではなくて、10%か
ら20%ぐらいで決めているところなんですけども、学校の中の学校内学童ク
ラブと比べると、児童館というのは、その学童クラブ室以外にも活動するス
ペースがたくさんありますので、少し弾力枠というのを多目に設定させてい
ただいています。ただ、学校の中の学童クラブについては、施設の使える部
屋が狭いので、例えばアフタースクール麴町ですと、この36名以上は、現状
では1人も入れられないという状況になっています。

古川委員

では、例えば四番町の施設はちょうどのようなのですが、弾力枠から、施設の
大きさによってさらに広げられたりもするのでしょうか。

児童・家庭支援センター所長

そうですね。四番町は、ちょっと一番町に比べると、施設が狭いので、そ
ういった点で、今60名になっていますけども、それが、お子さんがどのぐら
い、参加率というのも考慮しながら、少しまだ増やせる余地はあると思っ
ています。

古川委員

わかりました。ありがとうございます。

中川委員長

ありがとうございました。

昨年度、一番町の児童館を見せていただいたときに、もう少し改装の余地
があるのではないかということが話に出たと思うんですけども、そういう対
応によっても、枠をふやすということはできるのでしょうか。

児童・家庭支援センター所長

一番町については、学童クラブ室を今、中身を変えようということは考え
ているわけではありません。また別に、例えば二番町子どもクラブのよう
に、民間で誘致できる場所があれば、少しそういったところで枠を増やし
ていきたいと考えているんですけども、一番町のほうは、どちらかとい
うと、学童というよりは、一時預かり保育とかで少し使えるスペースがあれば、
そちらに使っていききたいなというふうに考えております。

中川委員長

わかりました。

教 育 長

さっき説明がありましたけれども、やはり今、麴町地区で一番需要と供給

のバランスが崩れています。中でもアフタースクールの人気が結構高いんですけれども、アフタースクール麴町が、非常に定員が少ないんです。それで、先ほど所長のほうからも話がありましたけれども、今年度どうかこのアフタースクール麴町の定員を増やすようなことを考えていきたいなと思っております。具体的には、麴町小学校の校舎の中で、もう少し学童として使えるスペースを確保していくようなことを考えていきたいと思っております。今一番人気が高いのが、やはりアフタースクールで、その対応を考えていきたいと思っております。

中川委員長

そうですね。麴町はもう少し、ぜひやっていただければと思いますね。わかりました。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

(な し)

中川委員長

それでは、次に行きたいと思えます。

学務課長

学務課長より、報告お願いいたします。

お手元、「平成25年度 学級編制」の資料をご参照ください。

まず、上段でございますけれども、小学校でございます。

これは、25年4月1日現在でございますが、学級数、1学年が16、2学年14、3学年15、4学年15、5学年16、6学年16、計92でございます。千代田小学校固定学級を含めまして、全体で94学級になります。昨年同じ時期に比べると、2学級減っている状況でございます。児童数でございますけれども、一番合計の右端になります、全体で2,392名でございます。昨年ベースで言いますと、46名の減といったところでございます。

続きまして、中学校でございます。

まず、1学年です、11学級。2学年10学級、3学年10学級の合計31学級です。麴町中学校の固定学級を含めまして、32学級でございます。昨年対比ですと、プラスの2学級になっています。一番右端、合計で1,101名ということでございますが、昨年と対比しまして、33名の増といったところでございます。

続きまして、通級指導学級でございますけれども、千代田小学校の言語障害、千代田小学校の情緒障害、神田一橋中学校の情緒障害でございますけれども、それぞれ1クラス、2クラス、2クラスの計5クラスでございます。生徒数でございますけれども、一番右側の47名といったところでございます。

続きまして、一番下段になりますけれども、中等教育学校でございます。学級数は、それぞれ4学級の24学級、生徒数は915名でございます。昨年に比べまして、14名の増というところでございます。

説明は以上でございます。

中川委員長

はい。ありがとうございます。

これに関しまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

ちょっと幾つか教えていただきたいのですが、麴町小学校が3クラスになっているんですね。これはふえたんですね。

学務課長

そうですね。1クラスふえます。

中川委員長

あと、麴町の固定級、人数とは関係ないと思うんですけど、指導課にお伺いしたいんですが、固定級で人数がふえましたね。その対応については。

指導課長

麴町中学校の固定級に関しては、教員のほうも1名増員になります。また、特別支援協力指導員のほうも増員しまして対応しているところでございます。

中川委員長

それと、ちょっと気になったんですが、九段中等教育学校の1年から6年までの人数の変遷ですけれども、6年生というのが135名と随分減っていますよね。このあたりはどうしてこの135名ということになったんでしょう。

学務課長

昨年ベースの、同じ時期に、6年生がやはり138名で、今年度4月1日、135名ということでございます。傾向としては同じような傾向で、減っていくといったところでございまして、途中にいろいろな事情で転出等もございまして、そういったところでこのような数字になっていくといったような状況でございます。

中川委員長

このあたりは、少し調べたほうがいいんじゃないかなと思います。

学務課長

調べておきます。

教育長

恐らく、今の6年生は、5年生のときも多分少なかつたと思うんですよ。しかし、今ごらんのように、5年生以下はそれほど減っていないです。多分160名定員で、今5年生152人というのは、これが普通だと思うんですよ。保護者の転勤だとかいろいろな事情で。ですから、5年生以下は多分こんな感じで、少しは減っていくんでしょうけれども、135名とかの数にはならないと思います。ですから、6年生のこの135名が、極端に減った最後の年じゃないかなというふうに思います。

中川委員長

わかりました。どうもありがとうございました。

では、よろしいですね、この件に関しましては。

(了 承)

中川委員長

それでは、指導課長よりお願いいたします。

指導課長

指導課からの報告をいたします。

まず、1点目、「平成25年度 教育委員会 学校関係 事業・行事予定表【改訂版】」でございます。

こちらのほう、自然体験教室だとか、あるいは移動教室だとか、あるいは研究協力校の発表につきましては、後ほど(2)、(3)でご説明申し上げますので、ここでは省かせていただき、主な行事だけをご説明したいと思います。

まず、4月24日水曜日、国の学力調査、小学校6年生、中学校3年生が対象のものがございます。5月2日木曜日、「熱狂の日」音楽祭、区立学校がリハーサルを見学に行く日になっております。同じく5月9日木曜日、達成

度調査、区の達成度調査が小学校4年生以上を対象に実施されます。同じく5月15日水曜日、この日は指導課訪問の第1回目、昌平小学校で始まります。この日から順次、全校を回る予定になっております。続きまして、18日土曜日、科学教育センターの開講式がございます。小学校5年生を対象に、この日から全12回を予定してございます。続きまして、7月4日、こちらのほうは都の学力調査で、小学校5年生と中学校2年生が対象になっております。また、一月飛びまして、9月5日、音楽鑑賞教室がございます。また、6日金曜日、水泳記録会を予定しております。

裏面をごらんください。

10月に入りますと、10月10日木曜日、小中陸上が予定されております。また、一月飛びまして、12月——失礼いたしました。研究発表会は後ほど説明します。1月に飛んでいただきまして、1月31日金曜日から連合作品展が始まります。3日月曜日までの予定でございます。同じく2月9日日曜日、これが東京都の中学生の東京駅伝大会が、従来3月20日前後に行われていたものが、会場の都合で、2月9日日曜日になっております。この影響は、また移動教室等でご説明申し上げます。3月に入りまして、3月3日が雅楽教室でございます。3月9日、神田一橋中学校の通信教育課程の卒業式、以降、18、20日、25と幼稚園、こども園、中学校、小学校の卒業式等がございます。

(1)の行事予定表の説明につきましては以上です。

続けてご説明申し上げてよろしいですか。

中川委員長
指導課長

はい。お願いします。

続きまして、千代田区教育委員会研究協力校についてご説明申し上げます。

まず、平成24年度指定の今年度研究発表を行う幼稚園、小学校でございます。千代田幼稚園、12月5日木曜日、お茶の水小学校、12月13日金曜日、千代田小学校、1月29日水曜日で研究発表を予定してございます。

なお、この研究協力校は、2年間の研究指定をしてございますので、今年度指定をし、1年目の研究をすることも園、小学校、中学校がこちらのとおり、ふじみこども園、和泉小学校、番町小学校、麴町中学校でございます。それぞれ研究主題のもと、研究を進めて、来年度研究発表の予定でございます。

続きまして、東京都教育委員会等の指定校でございます。

平成24・25年度、人権尊重教育研究推進校は九段小学校で、今年度発表の年になってございますので、11月29日金曜日に発表を行う予定でございます。

続きまして、平成25年度言語能力向上推進校、こちらは平成23・24・25の3カ年の研究を指定、今年度研究発表を行うものでございます。学校は番町小学校、研究発表会は1月17日木曜日となっております。

そのほか、東京都教育委員会のスポーツ教育推進校として、昌平小学校、

麴町中学校が指定されております。

また、東京都安全教育推進校として、番町幼稚園、東京都教育課題研究協力校として九段小学校、文部科学省の道徳教育実践研究指定校が九段小学校になっておりますので、あわせてご報告を申し上げます。

続きまして、(3)の平成25年度移動教室等の実施概要でございます。

こちらには、軽井沢移動教室、箱根移動教室、岩井臨海学校、孀恋自然体験交流教室、冬季移動教室(スキー教室)につきまして記載をしております。

1枚おめくりいただきますと、これも字が小さくて大変恐縮なのですが、軽井沢移動教室から順に予定を記載しているところでございます。

4月の軽井沢移動教室につきましては、15日月曜日、九段中等教育学校から始まりまして、24日水曜日、神田一橋中学校まで予定してございます。

続きまして、5月、孀恋自然体験交流教室(春季)、植えつけの体験です。14日火曜日、麴町、九段、お茶の水、各小学校から始まり、17日金曜日で終了予定です。同月、箱根移動教室も実施されます。21日、九段、お茶の水小学校から始まり、29日水曜日で終了の予定でございます。

続きまして、7月、岩井臨海学校、21日日曜日、神田一橋中学校と九段小学校から始まり、順次、31日水曜日までを予定しております。

10月、孀恋自然体験交流教室(秋季)、収穫の体験活動を行います。こちらは、16日水曜日、麴町、九段、お茶の水、各小学校から始まり、26日土曜日で終了する予定でございます。

2月、スキー教室、こちらは、4日火曜日、麴町中学校が6日まで、神田一橋中学校が少し飛びまして、25日火曜日から27日木曜日となっております。例年であれば連続して実施するところですが、麴町中学校が終わるのが6日木曜日でございます。その日に神田一橋中学校が行くと、8日土曜日に帰ってきます。その翌日が東京駅伝ということになっておりますので、生徒のことを考えまして、学校長と相談しまして、また施設等との状況も鑑みまして、25日火曜日となっております。また、この間、期末考査等も入っておりますので、かなり間が空いてしまったということでございます。

なお、1ページ以降、事業概要・宿泊関連資料につきましては、昨年度と同じものでございますので、後ほどご確認いただければと思います。

最後に、1枚、A4、1枚でお示した資料がございます。平成25年度の九段中等教育学校の校外事業の日程でございます。

まず、6月、関西課題研究合宿、5年生です。これは6月26日から28日でございます。

7月、勉強合宿、埼玉県熊谷市の、1年生から2年生のものですが、24日水曜日から26日金曜日でございます。至大荘行事は、4年生を対象に、7月29日から8月2日を予定してございます。

8月に入りまして、海外派遣、こちらは2年生の希望者でございます。オーストラリアのブリスベン、アレクサンドラ・ヒルズのほうで宿泊する予定

です。8月17日土曜日から23日金曜日を予定しております。

11月に入りまして、海外研修旅行、3年生を対象に、オーストラリアのブリスベンに行くものでございます。4日月曜日から10日日曜日までとなっております。

平成24年度は、5年生も海外研修旅行に行きましたけれども、学校の計画変更により、5年生は、先ほどご説明申し上げました6月関西課題研究合宿ということで、国内での研修旅行という形になります。

続きまして、12月は英語合宿、2年生を対象としているもので、福島県のブリティッシュヒルズに行くものでございます。11日水曜日から14日土曜日までを予定しております。

説明は以上でございます。

中川委員長

ありがとうございました。

3件まとめまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

昨年の先生方の調査で、移動教室の満足度というのがちょっと低かったと思うのですが、それに関して何か先生方の反省というか、提案というか、そのようなものはありましたか。

指導課長

やはり教員が、引率をしていくことによる自身の仕事の負担感というのがあるかと思えます。それが事業評価の数字としてあらわれていると思っています。例えば引率する養護教諭と看護師の関係があるんですけども、今までは養護教諭が引率で行った場合は、看護師は学校にはつけられなかったんですけども、今年度は学校のほうで選択をし、養護教諭が引率をする場合には、看護師を学校に置くだとか、そういう、少しずつですけども、学校の声を聞きながら、改善をしていくところでございます。

この事業につきましては、そういう教員に対しての改善点とともに、やはり保護者満足度は高いので、この事業をより充実させていく方向性は変えるつもりはございません。

中川委員長

ありがとうございました。

それでは、よろしいですね。

(なし)

◎日程第3 その他

中川委員長

それでは、その他の報告事項に入りたいと思います。

各課長よりお願いいたします。

子ども総務課長

それでは、第4回の委員会で議案として提出されました2件の指定文化財につきまして、資料をご参考ということでつけさせていただきます。

「千代田区文化財 新たに2件を指定」という資料でございます。

こちらの資料の中ほどに記載してございますように、1番のほうの紙本着色神田明神祭礼図巻3巻につきましては、4月27日から5月19日まで、これ

は複製の公開だそうです。複製をアーツ千代田3331で公開させていただいております。

説明は以上です。

中川委員長

ありがとうございました。

この件に関しまして、何か報告がありましたら。ご意見。

よろしいですか。

(な し)

中川委員長

では、ほかに課長さんから何かご報告がありましたらお願いいたします。

よろしいですか。

(な し)

中川委員長

それでは、教育委員から何かありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(な し)

中川委員長

特にないようですから、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。